

第13回 シンポジウム 関西のインフラ強化を進めるために

－日本のリーディングエリアとするために－

(一社)近畿建設協会

関西を日本のリーディングエリアとするために必要なインフラ整備のあり方や仕組み等について、産官学の有識者で方向性を議論し、実現に向けた構想をとりまとめ、広く発信することを目的に、平成29年4月に「関西のインフラ強化を進める会」を発足させました。この度、建設技術展2023近畿において土木学会建設マネジメント委員会との共催により、第13回シンポジウムを開催しましたので報告いたします。

- ◆ 実施日 2023年11月2日(木) 12:45～15:15
- ◆ 会場 インテックス大阪 6号館 多目的ホール
- ◆ 聴講者 約230名

特別講演

- ◆ 財政緊縮だけを唱える国の財政認識は誤りである。賃金を上げ、デフレ経済を脱却するには経済成長しかない。そのためにも経済発展を支えるインフラ整備が不可欠。
- ◆ シビルエンジニアとして新技術を用いて国民がより安全に、より快適に、より効率的に暮らせる環境を整備していただきたい。



大石 久和氏

開会挨拶 谷本 光司 一般社団法人近畿建設協会 理事長

特別講演 「危機感・緊張感を喪失した日本－その再生と次世代への責任－」

大石 久和氏 国土学総合研究所 所長／
一般社団法人 全日本建設技術協会 会長

パネルディスカッション

「インフラ産業の魅力を高める」

コーディネーター

小林 潔司氏 関西のインフラ強化を進める会 委員長／
京都大学経営管理大学院 特任教授

パネリスト(※順不同)

見坂 茂範氏 国土交通省 近畿地方整備局 局長

北岡 隆司氏 一般社団法人 日本建設業連合会 関西支部 支部長／
株式会社大林組 執行役員 大阪本店土木事業部長

浜田 紗織氏 株式会社ワーク・ライフバランス 取締役／
土木学会建設マネジメント委員会 2024年働き方改革小委員会 委員

大西 正光氏 京都大学大学院 工学研究科 教授／
土木学会建設マネジメント委員会 2024年働き方改革小委員会 委員長代理



見坂 茂範氏



北岡 隆司氏



浜田 紗織氏



大西 正光氏

近畿地方整備局 見坂局長

- ◆ 働き方改革による「新4K」の実現、DXの推進がインフラ産業の魅力向上には不可欠。
- ◆ 2025年の万博に向けスピード感を持って関西のインフラ投資、整備を進めていく必要がある。

日本建設業連合会関西支部 北岡支部長

- ◆ 最先端技術やICT活用の進展をPRし、イメージ戦略を立てて建設業の魅力を発信すべき。
- ◆ 技能労働者のステータス向上や処遇改善に向けて建設キャリアアップの普及・拡大に努めている。

土木学会建設マネジメント委員会 浜田委員

- ◆ 「人口オーナス期」に対処する多様な働き方とビジネスモデルを示すことが重要。
- ◆ ポータブルに活躍できるスキルを持つ人材の育成とマネジメントが今後の課題となる。

京都大学大学院工学研究科 大西教授

- ◆ 意思決定が迅速に行える現場・少人数で運営できる現場など、中長期的に働きやすい建設現場のイメージの具体化・発信、また、建設産業のエコシステムモデルの構築に努めたい。

小林委員長

「働き方改革」は担い手不足の中での生産性向上や時間の効率化に主眼を置いているが、最も重要な目的はその先にある。余裕ができた時間を活用して技術革新に取り組むなど、業界の方々が一歩先を見据えた視点に立つことが大切だと思う。

2023年11月9日(木) 日刊建設工業新聞



「関西のインフラ強化を進める会」シンポジウム

2日は「関西のインフラ強化を進める会」と土木学会建設マネジメント委員会がシンポジウムを開催。国土学総合研究所の大石久和所長による特別講演とパネル討論が行われ、小林潔司京都大学経営管理大学院特任教授をコーディネーターに、近畿整備局の見坂茂範局長、日建連関西支部の北岡隆司支部長、ワーク・ライフバランスの浜田紗織取締役、京都大学大学院工学研究科の大西正光教授が意見を交わした。

第20回委員会

【日時】
【会場】

2023年1月15日(月) 17:00～19:00
OMMビル2階 会議室